

後藤精機 社員が語る今月のコラム

タイトル 2条ネジの製作も対応出来ます。担当：I(プログラム)

第50回目となる、技術ニュースをお届け致します。

タップ加工が必要となる部品には、

設計者様もしくは各会社様で表記の違いが多少はあっても、

表1のように図面指示がされています。

他にメートル、ユニファイ、細目、管用、左右、等の規格や種類別のタップも有りますが、

タップの径、ピッチ、深さ、位置、数量が表記されていれば、

マシニングセンタでの加工でも、

通常は市販の工具とゲージを準備して、問題無く加工が出来ます。

ところが、

2条ネジについては、通常の市販工具及びゲージがほとんど見つかりません。

工具メーカーに問い合わせても特注品と言われ、納期、価格が問題になってしまいます。

棒状もしくは、回転中心にネジがあるなら旋盤での加工も検討出来ますが、

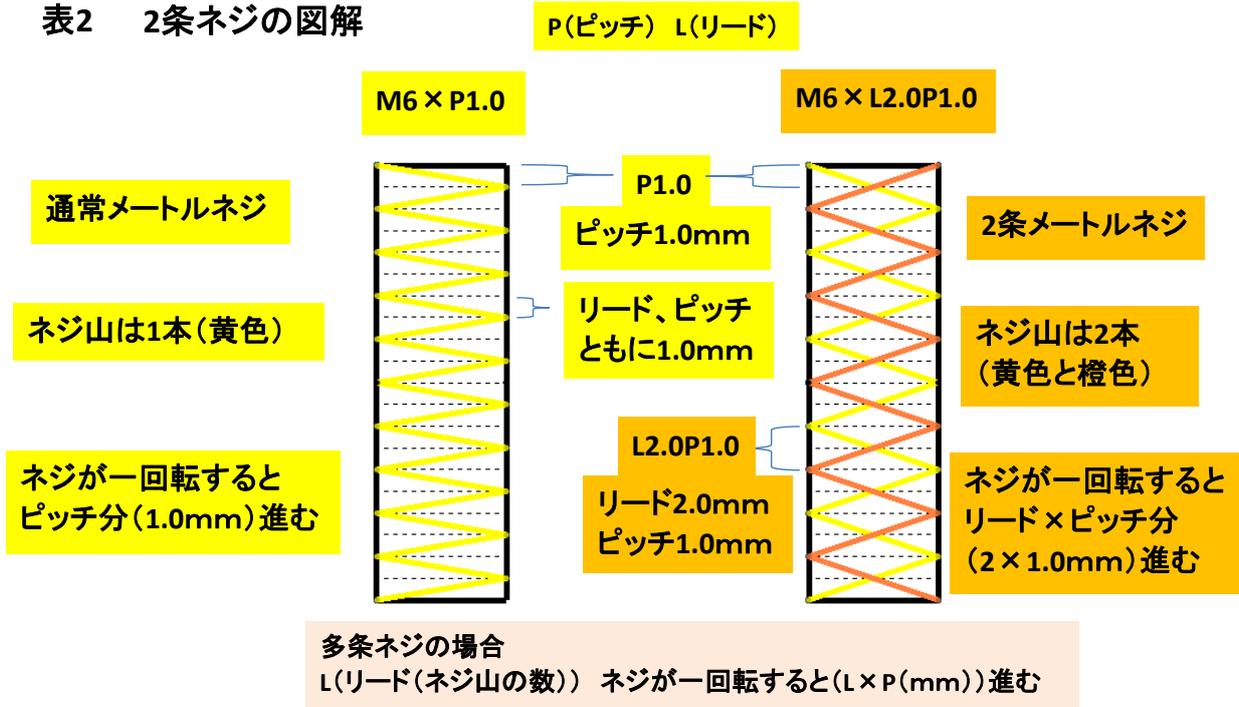
2条ネジが多箇所にある場合は旋盤での対応も難しいと思います。

M6 × 1.0
M6貫通
8-M6

M6 × P1.0
M6 × 1.0深さ10

表1

表2 2条ネジの図解



そこで、弊社がお役に立てます。

おネジ、めネジのどちらかを支給頂ければ、それに合わせて2条ネジの制作が可能です。

どちらも無い場合は、弊社で現物合わせでの両ネジ製作を行います。

今回の技術ニュースも私たちの日々の取り組みをご紹介しますのでご覧ください。